あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決!

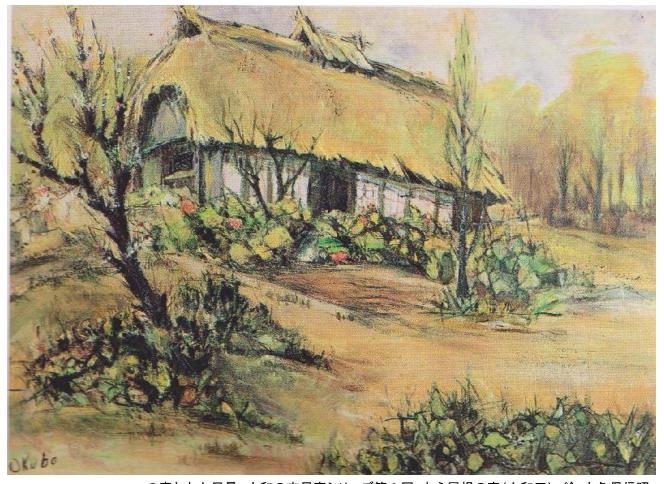
あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。

大和市民活動センター「拠点やまと」 第61号 2012年8月1日発行

2012



きみ野駅・南林間駅 から徒歩約 10 分の歩 行者専用道や住宅街 でサルスベリが見ごろ になっています。



●喪われた風景 大和の古民家シリーズ第2回 わら屋根の家(上和田) 絵・大久保信昭

元気で行動力のある先生でした 笹倉鉄平版画ミュージアム館長 小川政男

大久保先生には「やまと子ども絵画大賞」の立ちあげ時 からアドバイスをいただき、審査員をお願いしてきました。 長年の学校教育の現場経験から、「子ども達の絵画から まちづくりのきっかけを。大和市を文化の薫る街にしたい」 と、いつも熱っぽく語っておられました。新橋通商店会で 大和美術協会会員の作品展、深見小学校への出前授業

等々、とにかく元気で行動力のある先生でした。 大久保先生の思いをしっかりと胸に、絵画コンクールを 今後も続けて行きたいと思います。

ご冥福をお祈りいたします。合掌

大久保信昭さん(1930年生まれ~本年2012年死去) 画家。元大和美術協会会長。大和市深見台に長く在住。



『情報交差点』をご利用ください~イベントのお知らせやお仲間集めなどに便利~

- •A4サイズのチラシを200枚、ご準備ください。
- ・1点1,000円で「本紙」に同封し、登録団体等に送ることができます
- 発行日前日に予定する封入作業に加わっていただきます。

*「あの手この手」は大和市民活動セン ターのHPではカラーでご覧になれます。

このゆびとまれっ!

ただ今進行中(報告と予定)

2012年 中・高生**夏休みボランティア体験に集まっています**



会場は中・高生でいっぱい。視覚障害者の 案内には特に熱心に聞いていました 子どもたち て良かった。 元気をもらい 書さも忘れ (ケガをさせて) は大変! 復、交通ルー ルを守って真 ルを守って真

子どもと遊ぶ

7/26(木) しんちゃんハウスの子どもたちと遊びました。 次は、8月2日(木)、23日(木)15:30~17:30です。

引地川の掃除をする(これは7月で終了です) 7/28(土)「引地川水とみどりの会」のみなさんと いっしょにゴミ拾いをしました。

視覚障害者と卓球をする

視覚障害者の卓球=サウンドテーブルテニス

黄色い球の中に小さい鈴が 4 個入っていて、卓球台で球を交 互に転がして行います。

7/30(月)保健福祉センターで行いました。

次は、8月6日(月)、20日(月)です。

視覚障害者とコンサート観賞

8月6日(月)9:30から誘導体験学習を大和市民活動センターで行い、次いで、13:00からコンサート観賞をウィーンホールに移動して行います。

せてサ はてか はんで 温んで 組んで がしないように息を合わ

、暑い日だった 動靴をはいて 水の中を歩く 水の中を歩く



平成 24 年度協働事業等提案 意見交換会 を 7/8(日)開催しました

提案は14事業=本紙前号に紹介しています

<意見交換会の内容>

- ・提案者と市担当課が提案内容の調整結果を発表 □
- 協働推進会議委員が質疑応答
- •会場の意見を紹介

協働推進会議に意見交 換会のまとめを委ねる



推進会議から市長へ答申(8/2 予定)



協働事業の決定(8/31 予定)



市議会が予算案を議決



新年度より事業実施

(平成25,26、27年度の3年間)

価値が生まれてほしい市民と市が1+1が2、1+1が4協働推進会議委員のコメント



大和市民活動センターは市との協働事業で管理運営されています

持続可能な「センター」を運営していくために

今年度は他市「センター」を見学し情報収集を行います(その1)

次年度は学んだことを、今後の「センター」運営に活かしてまいります。 これから数ヶ月、「あの手この手」で他市「センター」見学記をリポートします。

おだわら市民活動サポートセンター 小田原市民会館 4 階にありました

人と人、活動と活動のつながりが基本

7月9日(月)に「鎌倉市市民活動センター」

7月13日(金)に「おだわら市民活動サポートセンター」を訪問。 それぞれの理事長にお会いして、お話を伺った。

センターの運営は、どちらも「基本は人」と、はっきり言われ、スタッフの熱い思いが、人と人、活動と活動をつなげていると実感。以下は参考となる事項です。(拠点やまと/石川美恵子)

[鎌倉]

- ・月1回のスタッフ会議の15分間は研修に充てている。
- 教員のインターンシップを引き受けている。
- ・郵便、メール便の取次事業の実施。

[おだわら]

- ・情報提供としての「イベントカレンダー」の発行。
- ・高校生が自主的にボランティアグループ「パレット」を運営。
- ・25 団体が夏休みの中・高生ボランティア体験を受け入れている結果、メニューが豊富。



現在、市民活動の拠点は市町村にひとつはあります。その運営主体はさまざまですが、おだわら市民活動サポートセンターは「NPO 法人」、市民が運営しています。

市民活動団体と同じ目線で人とつながりあい、 人と人をつなげあうことで地域の課題を解決した いというところに重きを置いているところは、ここ 大和市民活動センターと一緒。志の同じ人たち に出会い、うれしくなりました。

> (おだわら市民活動サポートセンター同行 市民活動課/村山真弓.)

7/24(火)「センター」にて 第 54 回を開催しました

連続共育セミナー

*--- 次回は9月に開催します (本紙9/1号でご案内します)

テーマ:とっさの判断力を磨く

~あなたならどうする? とっさの時~

進行役:関根孝子(拠点やまと会長)が 7/1(日)登録団体交流会で行った「クロスロード」技法を改めて説明しその技法を使って、参加者は5名毎グループに分かれ新たに作った「センター」版例題 10 問に対して体験しました。自分の意見が言え、他人の話も聞けて、さまざまな価値観を共有でき、とっさの時、大きい声の目立つ人や多数派に流されることなく、一呼吸入れて良い結

論を導けそう だとの意見も 聞かれました。



テーマ: NPO法改正 新寄附税制 会計基準 ~知っておきたいポイント~

日時、場所、講師等は確定次第ご案内します。

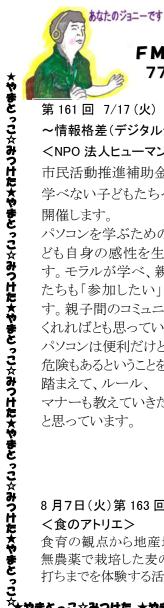
内容:理事長以外の理事の代表権喪失による変更の 登記はお済みですか?

> 2012年4月1日から改正 NPO 法が施行され NPO法人に関する諸制度が大きく変わりました。実務につながるポイントを学びます。

-「センター」のある日ある時

7月24日(火) 晴れ

国際交流活動をしている団体「ラボ」の飯塚さんが仲間のアメリカ人(アラスカ在住、しばらく飯塚宅にホームスティ中)を連れて来館。当人が撮ったアラスカのアルバムをみせていただき、日常英語を交わしながら談笑した。住居近くまで来るヘラジカは大きいが大人しいとのこと。



FMやまと 77. 7MHZ

朝ラ**ジ☆ホッとスクランブル** 大和市民活動センターだより 『やまとっこ☆みつけた』

第1.3.5(火)生放送 9:00 ⇒10:00



第 161 回 7/17(火)

~情報格差(デジタルデバイド)を生まないために~ <NPO 法人ヒューマン ICT 推進委員会>

市民活動推進補助金の適用を受けて、学びたくても 学べない子どもたちへの「たのしいパソコン教室」を 開催します。

パソコンを学ぶための操作方法を教え、その先は子 ども自身の感性を生かしてくれればと、思っていま す。モラルが学べ、親が「行かせたい」と思う、子ども たちも「参加したい」と思うパソコン教室にしたいで す。親子間のコミュニケーションを学ぶ機会になって くれればとも思っています。

パソコンは便利だけど 危険もあるということを 踏まえて、ルール、 マナーも教えていきたい と思っています。

第 162 回 7/31(火)

~日々食べているものが明日の健康につながる~ <大和クッキングスクール>

協働事業で、食材を通じ大和と子どもをつなぐ事業 「子どもの食育クッキング」を薦めています。第1回は 7/15(日)、「トマトで食育クッキング」を実施。トマトの においを嗅ぎ、トマトに触れ、食べてみる。採れたて はおいしいを実感し、旬を味わうことの大切さを知り、 安全か安全でないか、どこで採れたかを知る。地産 地消がなぜ大事かを知ってもらう機会になればと、熱 く語りました。第2回は9/2(日)、日本の食文化に慣 れない外国籍の子どもたちに食育クッキングを実施 します。大和産のお米と野菜を使ってお弁当作りに

挑戦。合わせ酢は甘い、酸っぱり 辛い、しょっぱい、にがみの 五味すべてが含まれている。 5色の具を入れて自分で作る 喜びを味わってほしいです。



まとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまと

<これからの出演団体>

8月7日(火)第163回 く食のアトリエン

食育の観点から地産地消を活動の原点と捉え、有機 無農薬で栽培した麦の刈り取りから製粉、さらにうどん 打ちまでを体験する活動をしている団体です

8月21日(火)第164回 <大和市芸術文化振興会>

市民活動推進補助金の適用を受けて、「お届け楽器 探検隊」を実施。希望する団体、場所にプロの音楽家 が楽器体験指導と生演奏をお届けします。

やまとっこ☆みつけた ★やまとっこ☆みつけた ★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた ★やまとっこ☆みつけた ★やまとっこ☆

誕生/成長/青春/衰退/終末。 これ、さながら人の一生のごとくだ と教えてくれるのが線香花火。 小生、火玉がポタッと落ちる寸前 かな。(小杉皓男)

実家にいたころは利根川の梁で、 結婚してからは2階から。今では 友達のマンションからと、どんど ん高いところから花火を見るよう になった。(関根孝子)

なぜか? 花火=落下傘で、田 舎の盛大な花火大会。昼間は落 下傘花火が連発。重りには景品 をくれる"商店名"の札! 夜は疲 れて「ドーン!」を夢にぐっすり♪ (望月則男)

北京オリンピックの花火はCGだった。 技術の進歩と称えるべきか、羊頭狗肉 の小細工と嘲笑うべきか。さてロンドン の花火は? (弘中健一)

熱血編集後記

テーマ:あなたにとって 「花火」とは?

夏祭りの夜店で買った線香花火を、海 岸に友達皆で持ち寄り、ワイワイガヤガ ヤ将来の夢を語った、遠い昔。みんな元 気かな? (櫻井貞代)

多摩川の花火大会の帰り、同じ家に帰る のがうれしくて、「あ~、結婚したんだ」と 実感。遠い遠い想い出。(石川美恵子)

子どもの頃、父の伊豆夜釣りにつ いていった。真夜中、流星群が広 がる夜空の下の浜で、そっと弟と 線香花火をした。以来線香花火 が好き。(村山真弓)

花火は体に響く打ち上げの音も楽 しみの一つ。「鰻を食べて花火を 見れば元気になるさ」という小説が 昔ありました。(中山みゆき)

花火を近くで見る迫力は格別で 記憶に残る。江戸川の河川敷で 見た花火は頭上に覆いかぶさる ような大輪の火の粉が露出した 腕にかかりチクッと感じるものだ った。(浅見正明)

「あの手 この手」第61号 発行日・2012年8月1日

発行・大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館・月~土 9:00~18:00> 〒242-0021 大和市中央 1 - 5 - 1

TEL: 046-260-2586 FAX:046-205-5788 e-mail:yamato@ar.wakwak.com http://www.kyodounokyoten.com/



大和市民活動センター[拠点やまと]が制作発行する月刊広報紙「あの手この手」。

2012年8月号(第61号)をお届けします。

猛暑の日々。お元気でしょうか。

こちら大和市。蝉(せみ)が一斉に3日前から鳴き出しました。「ジーッ」と鳴くアブラゼミが本格的な夏の到来を告げています。

7/27(金)付け毎日新聞朝刊の1面、「サムライ先制 初戦対スペイン」という大見出しの上に 先制ゴールを決めて喜ぶ男子選手3人の写真がありました。すごいね、男子サッカーチームもと 思いつつ、その記事の右下にこれまた「日本女性寿命世界一譲る」(厚生労働省発表)という見出 しに目が移動しました。平均寿命の上位の国・地域のベスト5位が載っている記事。

〈女性〉2位日本85.90歳、〈男性〉8位日本79.44歳とあり、男性も前年の4位から8位に下がったと。厚労省では下がった原因は「東日本大震災が大きく影響した」と分析。そうかそういうことなんだと気持ちを納得させて、読み続けると、平均寿命が下がったもうひとつの原因を記事は以下のようにたった20字にまとめていました。

「20歳代の自殺の増加も影響しているという。」これ、ひやりとしました。ほんとかよと。

考えてみると、今、就業している若者の半数近くが非正規雇用だという。仕事がきつくて、辞めたいと思っても一度職を失ったら、次がないから辞められない。ぎりぎりまで無理をする。それで、身体と精神が冒され、賃金の低い職さえ離さざるを得ないところに追い込まれてしまう。もうこれでは夢と希望が断たれてしまうのは明らかだ。「20歳代の自殺」……。

国際労働機関(ILO)総会でも今年の議題に若者の雇用問題を取り上げている。「若者に投資を。さもなくばひとつの世代が失われる」。

働いている若者の中でも2億人以上が1日2ドルに満たない賃金を得ているといった、若者の就業を取り巻く情勢を数字で示した上で、「活発な行動を即時に取らない限り、地球社会は失われた世代という悲惨な遺産」に直面することになると警告。政府、社会的パートナーである労使、多国間システムが若者の雇用危機に取り組み、若者のディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を促進する行動を支援するよう求めています。(ILO 駐日事務所 2012 年記者発表)

若者への投資はその国の未来への投資なんだと思う。(次号に続きます)

記・小杉皓男[拠点やまと]広報係 2012/08/01



イラスト・望月則男